

令和4年第11回浅口市教育委員会議事録

1. 招集日時 令和4年10月19日(水)

2. 場 所 浅口市中央公民館第3会議室

3. 開 会 午後1時30分

4. 閉 会 午後3時00分

5. 出席者 中野留美 藤澤弘幸 佐藤賢次 高戸崇 吉田英子

6. 説明のために出席した者の氏名

教育次長	難波勝敏	教育総務課長	瀬良昌弘
学校教育課長	小野力矢	こども未来課長	笠原清美
ひとづくり推進課長	田中有正	金光分室長	中嶋利恵
寄島分室長	山本峯廣	学校給食センター所長	安原直子
教育総務課	平井恵美子	(事務局)	

7. 傍聴人 なし

8. 議 事

日程1 議事録署名委員について

浅口市教育委員会議規則第29条により佐藤委員を指名。

(了承)

日程2 会期について

本日10月19日の1日会期。

(承認)

本会議通知後に準要保護の認定について議案提出があったため、追加議案とすることを諮る。

(承認)

日程3 議案第26号 準要保護の認定について

※非公開

(学校教育課長)

新規申請について資料により説明。

(教育長)

1件認定とする。

(承認)

日程 4 議案第 27 号 給食費について

(学校給食センター所長)

資料により説明。

食品の物価高騰が続いており、学校給食センターにおいても食材の購入に影響が出てくることが見込まれ、今年度については給食費と食材購入費の差額については、児童、生徒及び園児分は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、公費負担で対応するなどしている。近隣の情報としては、倉敷市が今年度4月に改定し、小中学校とも30円の値上げ。井原市は改定を予定。里庄町は検討中。県内のその他の市でも多数検討中のところがある。このような状況から、当市としても安定して品質、量の良い給食を提供するために令和5年度に向けて給食費の改定を検討しており、改正案を提出する。改定額の算出については、令和3年10月に使用した食材費を1年後の令和4年10月に購入した場合幾らになるかを食材納入業者から見積り徴収や聞き取りをして試算し、結果5.1%値上がりしていた。その試算した令和4年10月分の食材費を今後値上げが見込まれる食材について調整し、令和5年度の見込み額を算出。調整の内容としては、主食については、パン、麺は、令和3年度から令和4年度の価格の伸び率を令和4年度から5年度にも採用し、額を算出した。米は、令和4年度の価格が例年と比較して安価であったため、1kg当たりの価格の過去3年の平均を出して算出した。牛乳については、令和4年11月から1本税抜き2円の値上げが決定しているため、これを用いて算出。副食について、野菜と魚は納入業者に聞き取りをしたところ、天候等によって変動するため令和4年10月分を据え置きとした。肉については、納入業者からの聞き取りにより3%の値上がりを見込んで算出。また加工品や調味料については最初に話した令和4年度10月分を試算するとき、令和3年度10月以降の値

上げ分を含んだもので試算したため、据え置きとする。こうして算出した令和5年度の見込み額を令和3年10月分と比較すると、伸び率は8%だった。改定案として、現在の給食費から8%、1食当たり20円ずつ上げる案を示させていただく。現在の給食費に、小・中・幼稚園・こども園それぞれに8%を掛け、小学校で22.4円。中学校で25.6円。幼稚園・こども園20.8円。それを切りのいいところで小・中・幼稚園・こども園に20円とした。給食センター運営委員会においても、現在の時世や状況から考えると値上げは仕方ないだろうと助言をいただいている。

(教育長)

質問はあるか。

(教育委員)

確認だが、食材だけで光熱費や人件費は市が負担するということか。

(学校給食センター所長)

そうである。

(教育委員)

20円の値上げは、食材全体が値上げするから、給食費を20円ということで、致し方ないことは思うが、5年度で値上げして、また6年度もというのは避けたい。これで当分の間値上げはないということでよいか。

(学校給食センター所長)

その予定である。

(教育長)

給食費の値上げについては、10月17日給食センター運営委員会で審議している。承認でよいか。

(承認)

日程5 諸般の報告について

(教育次長)

9月議会の予算について報告する。令和4年度9月議会補正予算、教育委員会所管分。公立園のインターネット環境の整備に929万3千円。保育室にインターネットが出来る環境を整備する。また学校・園と家庭等の連絡システムの再構築。現在は簡単なメール等を送信出来るシステムであるが、1歩踏み込んだシステムを導入する。欠席・遅刻等の連絡、アン

ケート等の送付、回収及び集計。メールやプリント類のデジタル化の推進のための予算を170万円計上。修学旅行の取り消しに伴う負担金として100万円計上。新型コロナウイルス感染症で陽性になった場合等で保険適用外の部分について公費負担できるように予算措置をしているものである。また、小中学校の蛇口の交換修繕。トイレの手洗い場については、現在予算分を事業実施しているが、それ以外の利用頻度の高い部分について実施するために508万円計上。金光吉備小学校の北校舎屋上防水シートの劣化に伴い雨漏りがし始めたため、修繕を行うために1,770万円計上。体育館のLED化ということで、天草公園の体育館とふるさとかもがたプラザのLEDの照明改修に3,760万円計上。寄島B&G海洋センター体育館のトイレ改修工事に伴う設計業務委託に約190万円計上。以上主な概要である。

(教育総務課長)

表彰について。10月27日に国の地方教育行政功労者表彰で中野教育長が表彰をされる。また、11月1日県の岡山県教育関係功労者表彰で栗山市長が表彰をされる。

岡山県市町村教育委員研修会が11月30日オンライン会議にて研修がある。出欠を11月の会議にてお知らせをお願いする。

(学校教育課長)

昨年度、行政広報番組としてコミュニティスクールの番組を笠岡放送で作製し、市の取り組みを周知した。今年度11月にGIGAスクール構想の推進として、学校の取り組みや外部についての説明の番組を放送する。

令和4年度全国学力学習状況調査と合わせて県の学力調査の資料について、全国と比較すると小学校は国語では0.4ポイント上回り、算数は1.2ポイント下回る。理科、0.7ポイント上回る。国語・理科は、基本の徹底や授業改善の結果が成果として表れている。算数においては、下回っている部分があるので、基礎学力の定着に向けた改善策に取り組んでいく。中学校では数学で1.4ポイント下回り、理科では1.7ポイント上回ったという結果。全国県平均を下回っている。基礎学力の定着に向けた改善策を考えている。理科においては、基本の徹底、授業改善の成果と考えている。学力全体を包括した授業改善、家庭学習の習慣定着に今後も継続的に取り組ん

でいく必要がある。経年の変化が示されているが、中学校ではまだ上回るところには至っていないが、中学国語に関しては過去より現在のほうが上回っており、段々と平均に近づいており、数学科においても同様の傾向である。小学校においては定着に向けた取り組みを考えていきたい。

(教育長)

質問はあるか。

(教育委員)

県と全国のテストは比べようがないが、県の学力テストは小学3年生から中学2年生とよく頑張っていると安心した。全国の中学3年生は問題があると言われたが、これは学年の傾向か。

(学校教育課長)

それぞれの学年のカラーと読み取る場合もあるが、最終学年での結果なので、学校全体の取り組みを常に考え、学校で分析し全体の取り組みとして、改善ポイントがあればアプローチしていきながら維持改善していく。

(教育長)

理科はとても良かった。専科や、理科が系統的にする研修もあるし、実験もよくしており、結果が出ていると実感できた。

(教育委員)

どう対策をしていくのか。

(学校教育課長)

課題となっているところを各学校で分析し、授業改善等を行いながら取り組んでいく。

(教育委員)

小学校時代での算数の理解が十分でなかったら、これは中学校の数学にも影響があると考えられるので、小学校の算数をより充実したものにしていくような方策を。

(学校教育課長)

小中一貫教育の教育課程をそれぞれの中学校区で系統性を見定めて教育計画一覧表を作製している状況。算数科は積み上げが大事な教科。小中一貫教育を進めていく中で、系統性を持って出来るように考えていく。学習状況の面を学校ごとに分析し、取り組みの改善策を学校から挙げ、市全体でも学力向上の担当が集まって、先ほどの計画一覧表と重ね合わせながら中学校区の大事にしているところを共有している。

就学援助について。新1年生に関しては年度中の審議とし、来年度分は年度が明けてから出来るだけ早く審議することとする。また、コロナ禍等における生活状況が急変した世帯について。文部科学省の通知を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の影響等により家計が急変し、年度の途中において認定を必要とする者に関しては、家計が急変した事実を確認するため、教育委員会が必要とする書類等、前職の源泉徴収票、失業に係る手当の証明、新たな職に就いた場合は給与明細や雇用に係る書類、医療機関からの診断書等の提出を求め、それらを基に総合的な判断をする。家計が急変したことを踏まえ、給与明細等の書類を基にそれぞれの見込みを計算し、認定判断の参考とする。所得については直近3月分給与所得の平均を12月の掛け算で算出していく。

(教育委員)

ここで決まったら、いつから適用となるか。

(教育長)

令和2年度の文部科学省から通知が出た時点で審議する事案であったが、こういった事例の申請がなかったため、現在の審議となっている。

(教育委員)

文部科学省の通知があっても、規定を決めないと審議できないし、規定が変わるのであれば早急に広く周知する必要がある。

(教育委員)

ここで、直近3カ月の給与で見込みを計算するというのを、県内の他市も行っているというのであれば、審議して規定していけばよい。

(教育委員)

年度途中の変更となれば、不公平感を取り除くためにも学校で通知をし、変更内容を伝えること。

(教育長)

通知の段取りをすること。

(学校教育課長)

はい。

(こども未来課長)

令和5年度の保育園・こども園の保育部分の利用の申込書の配布を10月14日から開始している。11月1日から15日で受付をし、その後第1次利用調整となる。幼稚園は10月の今申し込みの受付をしている。10月末までとなっている。

(ひとづくり推進課長)

第44回全国公民館研究集会岡山県大会はYouTube配信となっており、配信期間が10月21日から12月21日まで。来月の教育委員会議後に視聴後の意見交換会が開催できればと検討している。

浅口文化祭のお知らせ。今週末土・日曜日に浅口文化祭を金光・鴨方・寄島会場で開催する。

第14回浅口市長杯中学生英語スピーチコンテストについて。アッケシソウ自生地的一般公開は10月15日から24日まで。今年度は赤色がはっきりしている。ぜひご覧いただきたい。

(寄島分室長)

12月11日浅口市マラソン大会を実施する。9月いっぱいまで申込を締め切り、674人163組の親子の約1000名の参加見込み。10月12日まで寄島図書館が休館していたが、無事エアコンの改修が終わり、13日から通常通り開館している。

10月16日日曜日午後2時、サンパレアが突然停電になり、原因がはっきりしないが、引き込んでいる高圧ケーブルが原因ではないかということで改修工事をしている。明日の8時復旧予定。

日程6 その他について

(教育委員)

来月の教育委員会後、学校訪問、オンライン研修等情報交換会を希望する。

(教育長)

日程を確認し、会を持つ。

次回教育委員会議

定例会 令和4年11月18日(金) 9時30分から

令和 年 月 日

浅口市教育委員会

教 育 長 中野留美

委 員 佐藤賢次

作成職員 平井恵美子